

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (北陸)	良く なっている	一般小売店〔精肉〕(店長)	来客数の動き	・売出しの反応が良く、売出しを実施しない時においても、3か月前より来客数が増加傾向にある。
		住関連専門店(店長)	お客様の様子	・現状は景気が良いとはいえ、今年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要であり、本質的に景気が上昇傾向にあるとは考えていない。なお、当該税率引上げ後の売上状況を懸念している。
		観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・宿泊単価の上昇対策及び個人旅行の好調から、総売上は前年同月比117%、宿泊人数は同116%、宿泊単価は同106%となった。なお、募集型企画旅行についても好調に推移した。
	やや良く なっている	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げを意識した行動などに伴い、単価は上昇傾向にあり、ファッションについても先取りした商材の売上が好調に推移している。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・今月の特徴的な動きは、まとめ買いが非常に活発となったことである。具体的には、タオル、せっけん及び洗剤などの日常的な消耗品において、当該動きが堅調にみられ、今年4月の消費税率引上げを念頭に置いた行動が表面化しているのではないかと考えている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・例年2月はクリアランスセールの日であるが、今年4月の消費税率引上げ前の時期であることなどから、冬物商材の追加購入が増加傾向にあり、例年の顧客動向とは異なるように感じられた。また、関東地方などは大雪であったが、当地は例年より降雪が少なかったことから、天候の影響を受けなかったことに伴い、来客数が少ない日があまり無かった。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・今月の販売状況については、中旬までは前月と変わらない状況にあったが、下旬からは今年4月の消費税率引上げを念頭に、雑貨や食品などを中心に、備蓄品や買い置き品の売上が増加傾向にある。
		スーパー(総務担当)	お客様の様子	・一部の商材が年明けから値上げになったが、菓子、酒類などの嗜好品については一時より買上点数が増加傾向にあり、全体の販売量はほとんど変化がみられていないことから、客は当該値上げについてはほとんど気にしていないように考えている。
		スーパー(統括)	お客様の様子	・今年4月の消費税率引上げに向けて、客の動向については、2月の前半ごろから長期保存が可能な商材の買い置きをしている様子が見受けられる。特に顕著なものは、ティッシュペーパーなどの紙製品や、洗剤、歯ブラシ、歯磨き粉などの生活雑貨であり、購入点数の増加傾向に伴い客単価は上昇傾向にあり、また、売上についても増加傾向にある。
		家電量販店(店長)	単価の動き	・今年4月の消費税率引上げ前に、省エネ性能が高い冷蔵庫及びエアコンなどの高単価商品を買そろえようとする動きが多いように感じる。
		乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・前年末より、今年4月の消費税率引上げ前の買換え需要が継続している状況下にある。なお、今月の業界全体における売上状況は、前年同月比115%の水準で推移している。
		自動車備品販売店(従業員)	販売量の動き	・今月は、天候に恵まれたことから、春タイヤの動きが活発となった。なお、高額商材の動きも回復傾向にあり、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が顕著に表れてきている。
		一般レストラン(統括)	来客数の動き	・外食企業においては、春商材フェアなどの新しい情報発信が、客の来店動機に結び付いた模様である。なお、当店においても来客数が前年同月に比べて増加傾向にあり、当該傾向については3月までは継続すると考えている。
スナック(経営者)	来客数の動き	・客との会話から、商店においては太平洋側の大雪の影響から流通及び人の流れが止まり、これまでのなかで最悪の2月となった模様であり、一方、少数の製造業においては動きがみられているとの声が聞かれた。なお、当店の売上については、非常に悪い状態にあった前年同月と比較すると多少増加したが、経営的にはぎりぎりの状況下にある。		

	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・ 今月は、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要の影響も含め、顧客からの問い合わせが増加傾向にある。ただし、当該税率引上げ後における状況の変化を懸念している。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ 販売状況については、学生向けが増加傾向にあることに加え、家族需要もあり、1家族当たりの販売が増加傾向にあるため、全体の販売台数を押し上げている。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・ 契約件数が、前年同月より増加傾向にある。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・ グレードの高いレースが多く、足元も良い状態であることから、1日当たりの平均来客数が増加傾向にある。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・ 契約額については、前月は例年の半分程度であったが、今月は前月に比べて2割程度増加した。なお、客の動きについては、多少出てきたように感じているが力強さは無い。全体としては、3か月前の状況よりやや良くなっていると認識している。
変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・ 春物商材やイベント用の衣服が出そろっているが、動きが今一つ鈍く、売上に大きな変化はみられない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・ 今月については、冬物のクリアランスセールが終盤に入り、特別招待会についても例年どおり開催したが、魅力的な商材や購買意欲を引き出すような商材が少ないことなどが起因してか、今一つ盛り上がりに欠けた。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・ 2月に入り、ホームセンター部門において、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が発生しており、主に、日用品、ペットフード、ガス器具、調理器具などの売上が、3か月前と比較すると増加傾向にある。一方、食品スーパー部門における売上については、当該月と比較するとほとんど変化がみられていない状況下にある。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 今月の客の動向については、低単価な商材及び期間限定の値引き商材を購入する傾向が以前より増しているように感じている。なお、前年同月と比較すると、来客数は97%、客単価は98%と当該月を下回る状況が続いている。全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ 6か月前に近隣に競合店がオープンした時に売上が落ち込んだが、最近は多少の変動はあるが低位安定で推移している。すなわち、競合店の出店に伴い、当店の来客数が減少した。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・ 売上の減少傾向が下げ止まったように感じているが、歴代最低平均日商の状態が数か月続いている状況下にある。なお、現在は工事関係者の利用が目立っているが、売上が前年同月比99.8%となり、当該月を上回っていないことから、現状の工事の終了後における売上動向を懸念している。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・ 2月については、販売努力の成果ないし景気回復が起因しているのかは不明であるが、前年同月と比較すると、商材単価がわずかに上昇しており、客の層や地域についても多少広がっているように感じている。上述の件により、売上はおおむね順調に推移しているが、全体としては、3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	衣料品専門店（総括）	来客数の動き	・ 前年同月と比較すると、客1人当たりの買上点数が多少増加していることから、客単価についても多少上昇しているが、来客数が減少しているため、当該月の売上を上回らなかった。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ 今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要や、積雪量が少ないことに伴う来客数の増加を期待していたが、3か月前の状況と比較して業況に大きな変化はみられなかった。

その他専門店 〔医薬品〕（総務担当）	来客数の動き	・売上については、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要により、前年同月比増加傾向にある。なお、商品の内訳状況を見ると、医薬品や日用品は増加傾向にあるが、化粧品については春及び夏の商材が店頭に並び始めたばかりであることから、3月に当該需要が発生すると想定している。なお、今月は全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・本年度下期を通して同じ傾向にあるが、来客数は順調に増加傾向にあるが、実際の購買客数が伸び悩んでおり、また、客単価についても目にみえた上昇傾向には至っていない状況下にある。	
高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・売上については、天候が安定していることはあまり関係が無く、昼及び夜ともに例年並みで推移している。	
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・前年の10月以降、毎月の来客数が前年同月比2けたの伸びを続けている。	
タクシー運転手	来客数の動き	・今月は降雪量が例年より少なく、積雪も無く足元が良いことから、通勤や外出時の利用が前年同月より少ない傾向にある。また、新年会の時期が終了したことから、夜の繁華街も人出が少ない。なお、全体としては、3か月前とほとんど変わらない状況下にある。	
通信会社（職員）	お客様の様子	・各種イベントの人出や交通量及び流通量ともに、活発な様子が見受けられるが、全体としては、3か月前とほとんど変わらない状況下にある。	
通信会社（店舗統括）	販売量の動き	・新商材への期待については悪い状況ではないが、想定を上回る状況下にはない。	
その他レジャー施設（職員）	お客様の様子	・会員数の状況を前年同月と比較すると、子どもは減少し、大人は増加した。なお、全体の当該数については変化が無かった。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今年4月の消費税率引上げを目前にして、客の動きに買い控え傾向がみられている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
やや悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・来客数及び販売点数ともに、減少傾向が続いている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・天候に恵まれたことから冬物の重衣料の購入に至らず、また、春物商材がそろわなかったことから、婦人服の売上については前年同月比95%となった。なお、全体としては、売上状況は3か月前よりやや悪くなっている。
	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・大手コンビニエンスストアにおけるレギュラーコーヒー販売の影響を受けていることなどから、早朝の来客数が大幅に減少傾向にある。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げを考慮して、住宅や自動車などの高額なものについては需要の前倒しが発生しているが、衣料品などにおいては当該前倒し需要に伴う買い控え傾向が感じられている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・売上については、前年同月を上回る店舗がある一方、前年同月を大幅に下回る店舗もあり、店舗間格差が発生している状況下にある。なお、今月は全体的には3か月前の状況より厳しい状況にあることから、景気はやや悪くなっていると感じている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今月に入り、一気に来客数が減少した。なお、週末のイベント開催時においても、来場者数は前月より激減している状況下にある。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・2月の販売量は、前年同月比113%であった。なお、前年11月の販売量は前年同月比150%であったことから、3か月前と比較すると、やや悪くなっている。なお、当該要因は、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が一巡し、資産効果が低下していることに伴うものであると考えている。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・節分を過ぎてから、商材の動きがみられない。客は、卒業や入学、引っ越しなどへの出費を優先しており、そのほかのものには支出を抑制しているのではないかと考えている。なお、全体としては3か月前より景気はやや悪くなっている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・売上については、宿泊部門、レストラン部門及び宴会部門のすべての部門において、前年同月比減少傾向にあり、また、前月より大幅に減少している。

		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・関東地方、甲信地方及び東北地方を中心とした2週間の雪害に伴い、当該地方における高速道路が一部閉鎖となり、首都圏からの団体旅行が全てキャンセルとなった。なお、売上については、宿泊部門及びレストラン部門ともに、前年同月より10%減少となり、深刻な状況に陥った。今後については、今年4月の消費税率引上げの影響などに伴い、旅行に対する抑制傾向の継続を懸念している。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・安近短の旅行の受注及び間際予約ともに発生していない。加えて、今月中旬の大雪に伴う旅行代金の払い戻しに追い打ちを掛けられている。なお、全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・前月に引き続き、今月においても降雪がほとんど無く、足場が良いことから、タクシー利用客が少なく、売上は前年同月比15%減少した。
		通信会社(役員)	販売量の動き	・今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要以外の商材における契約については、目立った動きはみられない。むしろ、当該需要の反動から、売上については弱含みで推移しており、全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・今月の状況については、来客数は、前年同月と比較すると、例年と比べて降雪が少ないことから、国内の個人旅行者の動きは良かったが、国内の団体旅行者や海外旅行者の動きが多少緩慢となり、全体としては前年同月を下回った。なお、全体としては3か月前の状況よりやや悪くなっている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・完工については、現在は4月末の引き渡し物件などがあることから多忙ではあるが、5月以降の業者の手空き状況を懸念している。また、受注状況は、年明けより前年同月比2割減少傾向にある。当該要因は、現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期の前年9月末の終了に伴い、駆け込み需要が一段落したこと起因しているものと考えている。
	悪くなっている	美容室(経営者)	来客数の動き	・今年の冬は積雪がほとんど無いにもかかわらず、前年同月より来客数及び売上が減少傾向にある。上述の件により、今年4月の消費税率引上げ後の状況について一層懸念している。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・直近のイベントへの来場者数についてはかなり増加してきたことから、客は動きつつあるように感じている。ただし、現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期が前年9月末で終了したことに伴う駆け込み受注の反動から、成約数については厳しい。なお、全体としては3か月前の状況より悪くなっている。
企業 動向 関連	良くなっている	一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・米国及び欧州からの受注が増加している。
(北陸)	やや良くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・価格面の交渉についてはほとんど進展していないが、受注状況は安定的に推移している。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・今月は、今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が現在頂点に達しており、受注量及び販売量の動きが良い。なお、全体としては3か月前の状況よりやや良くなっている。
		精密機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・国内販売については、季節的な要因を考慮しても、3か月前と比べて、売上は増加傾向にある。今年4月の消費税率引上げ前の駆け込み需要が多少含まれていると考えている。
		建設業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・まだ一部に低価格の受注を行う業者が見受けられるが、業界全体においては受注価格競争の緩和傾向がみられ、3か月前の状況よりやや良くなっている。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・今年4月の消費税率引上げを控えて、駆け込み需要が発生している。また、円安などに伴うコスト上昇分の販売単価への転嫁は依然として小幅にとどまっているが、売上数量の増加に伴い、収益面においては多少回復傾向がみられる。上述の件により、3か月前より景気はやや良くなっていると考えている。

	金融業（融資担当）	取引先の様子	・来年3月の北陸新幹線の開業を見据えて投資活動が活発化しており、現状の景気についてはやや良くなっていると感じている。	
	司法書士	取引先の様子	・新築住宅、新築店舗及び建設資金借入のための抵当権の設定案件が増加傾向にある。	
変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注面においては、円安の影響などから国内の生地を利用してもらえないことに伴い、国内アパレル向けの出荷が滞っており、また、ヨーロッパの暖冬の影響もあり、スキー関連を始めとした内外のスポーツ関連織物の勢いが無く苦戦している。ただし、分野別にみると受注状況はまだ模様となっており、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は年末工期の工事、現在は年度末工期の工事に追われ多忙ではあるが、当該状況については例年のことであることから、景気の変化は感じない。	
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・物量の動きについては、前月とほとんど変化はみられない。	
	輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・輸送コストの高止まりから利益を確保するのが難しい状況だが、売上については3か月前とほとんど変わっていない。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者より、不動産物件の受注や販売に多少動きが出ているとの話がよく聞かれた。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
	新聞販売店〔広告〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・前年同月の出稿量と比較すると、2月は、駆け込み需要が見込まれる自動車業界及び家電業界のチラシは増加傾向にあるが、そのほかの業種については暖冬の影響などもあり、減少傾向にある業種が目立っている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	競争相手の様子	・業界全般にいえることであるが、3か月前と比較すると、主原料が12～13%値上がりしており、また、包装資材、燃料及び電気についても上昇幅は異なるが同様の傾向にあることから、当社においては減益となった。なお、業界においては、即値上げしたいとの要望が大きいと、周りの環境を見据えて静観している状況下にある。	
	税理士（所長）	取引先の様子	・例年の2月と同様、今月においても、飲食業を始めとした様々な業種において、売上が増加傾向にはなかった。なお、各企業の経営者からは、製造業については原材料価格の上昇及び販売価格の抑制、建設業においては現行の消費税率が適用される請負工事契約の締結時期の前年9月末の終了に伴う駆け込み需要の先取りから、3～4月以降の見通しについても非常に厳しいという声が聞かれた。なお、全体としては、3か月前の状況よりやや悪くなっている。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (北陸)	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人者の募集意欲は、前年同月と比較すると、上昇傾向にあると感じている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比29.5%増加した。なお、当該求人数のうち、製造業については同27.2%の増加となった。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・年明け以降求人数が増加傾向にあり、今月については3か月前の状況よりやや良くなっている。
変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・最近の3～4か月間は、有効求人倍率が上昇し、雇用環境も上向き傾向にある。また、派遣需要についても多少増加傾向にあるが、スキルの高い人材の確保が難しく、マッチング件数があまり伸びていない。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・専門性や技術力の高い人材の確保を目的に、契約社員による採用を前提とした紹介予定派遣の依頼件数が増加傾向にある。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。	
	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数については、3か月前より多少減少しているが減少幅が小さいことから、ほとんど変わっていない。	

	新聞社 [求人広告] (役員)	求人数の動き	・ 2月の求人広告の売上は、前年同月比7割を多少下回っている。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・ これまで新卒採用を控えていた中小企業を中心に、企業における新卒採用の意欲が高い。なお、全体としては3か月前の状況とほとんど変わっていない。
	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・ 求人企業は短時間勤務者を求めており、一方、求職者はフルタイム勤務希望が多数であり、双方のニーズに違いがあることから、求人広告の掲載をしても、応募者が集まらない状況が続いている。
	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・ 今年度の求人件数については前年度より多少増加したが、来年度の卒業予定者の就職活動の動きが遅いように見受けられる。なお、全体としては、3か月前とほとんど変わらない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-